

令和六年度 中学生の「税についての作文」

沖縄県納税貯蓄組合連合会会長賞 幸せの扉を開く「カギ」

北谷町立北谷中学校 島袋 愛彩

みなさんは、今の社会で「幸せだ。」と心の底から思いますか。もちろん人によって「自分の幸せ」は違います。また、日本の全員が「はい。」と言えるのは難しいでしょう。より多くの人が「幸せだ。」と堂々と言える社会をつくるにはどうしたらよいのか。私は「税金」がよりよい日本をつくるための一つの「カギ」だと考えます。

まず、今の日本の税金は高いと感じますか。私ははじめ、減税した方が負担が和らげられると考えていましたが、ある記事をみて考えが少し変わりました。それは、「幸福度」と「税金」を世界で比べた調査結果でした。「税金」の種類が多くある中で、中学生の私たちでも、唯一支払っているであろう、「消費税」のランキングです。この二つの調査結果を見比べた時に、驚くことができました。なんと、はるかに日本の消費税率を超える国がいくつもあり、消費税だけではないと思いますが「税金を下げる。」と多く言われてきた日本が世界で同率三十八位だったのです。この結果の第一位はハンガリーで税率二十七%と日本と比べ二倍以上という結果でした。また、幸福度ランキングでの日本は、G7で最下位の五十一位と悪い結果になりました。私が調査結果で注目した国は、デンマークです。この国は、消費税率が二十五%で世界二位と高いのですが、幸福度ランキングでは第二位という結果になっています。すごいと思いませんか。税金がとても高いのに国民が幸せ

と感じているのです。デンマークの国民は、高い税金のおかげで、医療・介護・教育などの社会サービスがとても充実しているのです。このサービスは若者から高齢者までの全ての国民が平等に受けられるため、デンマークは貧困格差が少なく、政府に対する信頼度が高くなっています。ここが、日本との違いだと思います。日本政府がどれほど国民に信頼されているか、どれほど国民が政治に参加しているのか。デンマークの総選挙平均投票率は、毎年八十%以上と多くの人が積極的に政治に参加していますが、日本は去年に行われた参議院議員通常選挙の投票率で約五十二%と国民の約半数しか政治に参加していないという残念な結果でした。私は中学生でまだ投票権もっておらず、直接的には政治に参加できません。だから、投票権を持っている大人に、投票権を持っているなら国民の代表として責任もって政治に参加してほしいと、また参加しない人は「税金を下げる。」などと、えらい事は言わないでほしいと思います。日本を変えるのは、国民一人一人です。そのため、一人一人がしっかりと政治の考えを持つには、教育、健康に生きていくには、医療・介護、国民みんなが幸せだと思えるような日本をつくっていくには「ゆりかごから墓場まで」充実した社会を作っていかなければなりません。そのかぎが「税金」だと私は、思います。